Green Age vol.34

2016.1月号
鹿児島高校新聞・グリーンエイジ／第34号

1面…3学期スタート／受験生激励会
2面…Scio／学びのヒント
3面…部活動の活躍／地域の方々とのふれあい
4面…修学旅行／かけはし／行事予定

【編集・発行】学校法人 津曲学園 鹿児島高等学校 企画広報部 ／ 〒890-0042 鹿児島市薬師1丁目21-9 ／ TEL.099-255-3211 ／ FAX.099-258-0080

focus the KAKO

3学期スタート!

1月8日(金)、平成27年度3学期の始業式が行われました。体育館に集まった全校生徒に向けて、校長先生は式辞の中で、中国の故事成語「朝三暮四」、映画「スターウォーズ」、テレビドラマ「坊ちゃん」に触れられました。

申年にちなんで引用された「朝三暮四」については、「目先の利益に惑わされず本質を判断できるようになってほしい」、「スターウォーズ」については、「本作は黒澤明監督作品へのオマージュであり、日本文化の影響が世界的大ヒット映画に見られる」、また「坊ちゃん」の登場人物を取り上げ、「人間が成長する過程には、大丈夫だと肯定してくれる存在が大切だ」というお話がありました。

「センター入試が目前に迫り、あわただしいが、いいことの多い一年になるようがんばろう」と締めくくられ、全校生徒で校歌を斉唱して3学期のスタートを切りました。

全校生徒に向けて人としてのあり方や日本人の功績、人間の成長に必要なことを呼びかけられた校長先生

新学期を迎えて気持ちを引き締めた全校生徒

focus the KAKO

センター入試受験生激励会

始業式に続いて、28年度大学入試センター試験受験生の激励会が行われました。

まず和太鼓同好会が力強い激励の演奏を披露。続いて激励の言葉が次の通り述べられました。

●校長先生
「センター入試は、時間をかけて練られた、人生を賭けるに足る良質の問題ばかり。今までやってきたことを信じて力を出し切ってほしい」。

●進学指導主任・東峯先生
「プレッシャー、緊張、不安を感じているのは、今まで努力してきたからこそ。プレッシャーを丸ごと抱えてセンターに挑んでほしい」。

●生徒代表・末弘一穂くん(2EE1)
「先輩たちが朝早くから放課後遅くまでがんばっているのを目にしてきました。体調管理に気をつけて、志望校合格を勝ち取られることを祈ります」。

これに応え、受験生を代表して森山朔太郎くん(3ET1)が「担任の先生をはじめ、多くの先生方に支えられて今日まで来ました。投げ出したくなる時もありましたが、それを乗り越えて努力してきた自分を誇りに思います」と決意の言葉を述べ、最後に鞍掛啓くん(2ET1)のリードで全校生徒がエールを贈り、激励会を締めくくりました。

今年のセンターに臨む鹿高生は英数科137、普通科44、情報ビジネス科1の計182名。過去15年では一番多い数です。今年度の大学入試センター試験は1月16・17日に実施されました。

和太鼓同好会による激励の演奏

校長先生より激励の言葉

受験への決意を述べる森山くん

Green Age ～可能性の世代～

greenとは、「未熟な、まだ完全でない」ことを示し、「これからの可能性に満ち溢れている」ということを表す言葉です。そんなgreenな若者たちを、"グリーンエイジ"と呼びます。また、greenには「環境にやさしく、目にやさしい」とも言われており、「やさしさ」をイメージしています。「夢いっぱいのやさしい若者たち」にマッチした、この「GreenAge」をよろしくお願いします。

2年生修学旅行!@東京

12月14日(月)から17日(木)まで、2年生は修学旅行に行ってきました。(英数科は18日まで)

3学科とも関東、東京方面への修学旅行。「東京ディズニーリゾート」は 3学科共通でしたが、普通科は「ディズニーアットザテーブル」でテーブルマナーを学び、情報ビジネス科はスキー研修、英数科は東大生との交流会、大学・企業訪問など、学科の特色を生かしたスケジュールで実施されました。 2年生にとって、一生の思い出ができたのではないでしょうか。

東京大学体感プログラムで東大生と

東大赤門前

ディズニーアットザテーブル

ディズニーアットザテーブル

軽井沢スキー研修

東京スカイツリー見学

かけはし／1月号

12月に委員総会が行われました。

事前に集めた意見をもとにした三弧会役員と各クラスの代表の生徒との質疑応答及び意見交換では、多くの質問・意見が出て有意義な会となりました。

その後、委員総会で出た意見をもとに校長先生をはじめとする先生方と三弧会役員による懇談会が行われました。

議題1 携帯電話持ち込みについて

Ⓠ許可申請をクラス全員提出しないと許可が下りないのか。

Ⓐ全員提出しないと許可が下りない。理由として持ち込み許可をしていないのに持ち込んだ場合、厳しく指導するため。

議題2 学食利用について

Ⓠおにぎり販売の難しさ、または気を付けるところとは。

Ⓐ販売は無理な話ではないが、どこの業者に頼むのかという問題が上がってくる。

議題3 クラスマッチの種目追加について

Ⓠ三弧会が考えている1年間の総合成績での順位決定となるとどうしても種目が減る。

Ⓐ現在考えていることとして
▼学科によって男女比が異なるので、男女合同で可能な種目にする。
▼在籍状況、要望に応じ、アンケート等をとり種目を見直す。
▼参加種目の時間帯のかぶりがあると困るので、スムーズに出来るように対策を考える。

すぐに議題を解決することはできませんが、先生方と連携して議題解決に努めていきたいと思います。

1月／2月／3月の行事予定

月	日	曜	予定
1月	28	木	
1月	29	金	会場設営(午後)
1月	30	土	本校入試／生徒自宅学習
1月	31	日	入試作業／生徒自宅学習
2月	1	月	入試作業／生徒自宅学習
2月	2	火	入試作業／生徒自宅学習
2月	3	水	入試作業／生徒自宅学習
2月	4	木	合格発表／生徒自宅学習
2月	5	金	二者面談
2月	6	土	二者面談／月曜4～6の授業
2月	7	日	
2月	8	月	二者面談／木曜授業／全校朝礼
2月	9	火	二者面談
2月	10	水	二者面談
2月	11	木	学校説明会
2月	12	金	二者面談／3年登校日
2月	13	土	
2月	14	日	学校説明会
2月	15	月	学科朝礼
2月	16	火	
2月	17	水	
2月	18	木	
2月	19	金	
2月	20	土	月曜1～3の授業
2月	21	日	
2月	22	月	学年末試験
2月	23	火	学年末試験
2月	24	水	学年末試験
2月	25	木	学年末試験
2月	26	金	
2月	27	土	
2月	28	日	
2月	29	月	卒業式予行・賞状授与式
3月	1	火	卒業式
3月	2	水	
3月	3	木	クラスマッチ
3月	4	金	クラスマッチ
3月	5	土	月曜1～3の授業

Scio 鹿児島高等学校 進学指導便り no.62

Scio（スキオー）の意味

知るを意味するラテン語。science（科学）の語源にあたるscientia（知識）は、Scioの派生語とされています。

国公立・私立大 一般入試への出願開始

2016年度大学入試センター試験の志願者数は56万3765人となり、昨年度より4633人増加しました。現役生の出願者は6940人増加し、現役志願率が過去最高の43・4％となりました。その一方で、浪人生は昨年比2・3％減と2年連続で志願者が減少しています。

ここ数年いわれ続けてきた、「理高文低」は落ち着きを見せ、文系学部への揺り戻しが大きく現れてきています。昨年度のセンター試験では、文系での「理科の基礎科目2つ」は負担感が大きいと見られていましたが、平均点が高かったため、国公立大文系の志望者が増えたとみられます。

さて、1月16・17日は大学入試センター試験があり、鹿児島高校の生徒も181名が受験しました。2日目に雨が降ったものの、気温もそれほど下がらずにすみ、滞りなく試験を終えたようです。生徒たちによると、数学ⅠA・ⅡB、化学が難しく、国語が取り組みやすかったということでした。

数学・理科以外でも昨年すでに新課程の問題を先取りした出題も見られ、受験生は出題傾向の大きな変化を感じることはないだろうという予想でしたが、「知識を活用し思考力を測る」問題が、いくつかの教科・科目で出題され、戸惑った生徒もいたようです。

全国集計を昨年度と比べてみると、国語の平均点が10点ほど高くなり、数学ⅠAは6点ほど、化学も10点近く下がるという予想ですが。数学ⅡBは昨年より7点ほど上がったとはいえ、相変わらず難しく全国平均は47点程度です。結果的に、文系が5点上がり、理系が5点程度下がることになりそうです。

このような状況の中、自己採点の結果を予備校などの判定に照らし合わせて、担任が保護者・生徒と三者面談を行って、国公立大学の出願校を決定します。センター試験が必要な国公立大学推薦入試にも15名の生徒が出願しました。

国公立大学の個別試験は、前期が2月25日、後期は3月12日ですが、私立大学の一般入試は、早いところは1月末から始まり、遅くは3月半ばまで様々な大学で試験が行われます。姉妹校である鹿児島国際大学の一般入試にも多数の生徒が出願します。

3年生はいま、私立大学や国公立大学二次試験に向け、ひたすら励んでいますが、できるだけ多くの生徒が、自分の目指す大学に合格するよう、われわれ教員も一丸となって指導しているところです。これまでの努力が朗報に結びつくことを切に願います。

学びのヒント

歩むスピード

体育科　樺山市基

高速道路を車で走っているときのこと、ふと感じたことがある。時速100㎞を超過し走行すると景色を観る余裕がない。逆に速度を落としすぎても目的地まで時間がかかりすぎてしまう。また、極端にスピードを落とし、景色を楽しもうとすると周りの車に迷惑をかけ危険である。止まるのは論外である。即、事故だ。追突される。高速道路での車の燃費で一番効率が良いのは時速80㎞位だと聞いたことがある。速すぎず、なおかつ遅すぎないというちょうどいいスピードである。日常に置き変えてみる。物事を遂行するスピードも急ぎすぎれば余裕もなくなり、ミスも増え、また周りが見えにくくなる。遅すぎればミスはないかもしれないが、周りに迷惑をかけ物事も円滑に進んでいかない。止まってしまえば何も始まらない。急ぎすぎず、遅くなりすぎずのちょうどいいスピードで歩むといい。

「見て、聞いて、感じれる」見ること、聞くことまでは多くの人ができることだと思う。しかし、感じれることはひとつの能力といってもいいかもしれない。これを成すにはさまざまな経験が必要である。本質を感じ実行に移せる人間になってほしい。

「顔」人には顔がある。それぞれ異なった顔だ。個人の顔、グループの顔などさまざまだ。私であれば、家族、鹿児島高校、サッカー部、挙げていけばきりがない。「顔」に責任をもった行動、言動をする。個人のわがままだけではいけない。

「繋がり」を大切にする。気の合う人もいれば合わない人もいる。当たり前だ。育った環境、価値観等、皆違うのだから。だからこそ良いところをたくさん見つけておく。いつ、どこで、誰と誰が繋がるかわからない。もしかしたら、将来の仕事にも関わってくるかもしれない。最高の人物だと紹介できる、してもらえる繋がりを作っておく。

最後に、高校教師と高校生が一緒にいれる期間はたったの三年間しかない。難関大学合格、部活動全国制覇等目標はさまざまだ。企業であれば何年もかけて社員を育てていくが高校でそれは叶わない。たった三年間しかない。たったの間に何を与え、得るかは卒業後何が残ったのかに隠されている。「時間、空間、人間を大切に」

鹿児島高校新聞 ／ 平成28年1月号
Green Age | vol.34

部活動の活躍

卓球部　12月27日

第7回 いぶすきオープン卓球大会

3位
東條 直斗（3F5 松元中）

女子ソフトテニス部　1月11日

第15回 新春ソフトテニス垂水大会

3位
【鹿児島高校A】
林 澪奈（2F1 東谷山中）
田島 未郷（2F1 長田中）
城 綾香（2F1 紫原中）
永尾 なつみ（2F2 郡山中）
前村 颯子（2ET1 川内南中）
奥平 愛梨歌（1F3 南中）

少林寺拳法（部活外）　12月19日～20日

第2回 九州高等学校少林寺拳法選抜大会
（熊本県大津町）

4位
【男子自由単独演武の部】
新美 開士（2F6 伊敷中）

吹奏楽部　12月12日

第42回 鹿児島県吹奏楽アンサンブルコンテスト

金賞
【金管五重奏】
阿久根 佳菜（2ET1 谷山中）
森脇 梨菜（2F3 桜島中）
永田 梨紗（1F3 松元中）
松尾 有真（1J2 松元中）
西村 亜美（1J3 吉野中）

書道部　1月8日～11日

第68回 鹿児島県書道展

準大賞
【硬筆の部】上別府 里奈（1ET1 吉野中）

県書道会賞
【硬筆の部】帖佐 菜々子（2EE2 鹿大附属中）

大賞
【毛筆の部】山中 菜都子（1F2 谷山中）

南日本書道会賞
【毛筆の部】上別府 里奈（1ET1 吉野中）

県書道会賞
【毛筆の部】
徳永 日花梨（2EE1 紫原中）
池田 葵（2EE1 鹿大附属中）

写真同好会　12月18日

第22回 鹿児島県高校写真展

入選
森岡 舞（3EE2 鹿大附属中）

演劇部　12月19日～20日

第57回 九州高等学校演劇研究大会
（長崎市・長崎ブリックホール）

優秀賞
演目「ヘンシン」

創作脚本賞
教諭／谷崎 淳子

松山雄磨くん（2F5山川中） 全日本アンダー17のチームに！

男子ソフトテニス部の松山雄磨くん（2F5山川中）が、平成28年度全日本アンダー17のチームのメンバーに選ばれました。これは、公益財団法人日本ソフトテニス連盟が、国際大会での活躍が期待できる選手でチームを編成し、競技力向上を図っていくものです。松山くんは2月の全日本チームの合宿を皮切りに、今後、全日本チームの強化選手として活動していきます。

「日本代表の合宿では、自分を積極的にアピールしたいと思います。また、初めて知ること、学ぶことをたくさん吸収して、基本を忘れず他のメンバーに負けない力をつけて全国大会での優勝をめざします。また、合宿以外の普段の練習やトレーニングで差が出てくると思うので、ライバル意識をもって、誰よりも意味のある時間の使い方をしたいです。」

「ふれあい昼食会」でお年寄りの方々と交流を深める

薬師1丁目町内会に於いて一人暮らしのお年寄りが集まる「ふれあい昼食会」に、本校の生徒が作成したクリスマスカードのプレゼントを持って参加しました。吹奏楽部2名がフルート演奏、音楽部5名がクリスマスソング等を歌い、大変喜んでいただけました。

クリスマスカードをプレゼントされて生徒のあたたかい気持ちに喜ばれていました。

吹奏楽部の2名の生徒による演奏でクリスマスの雰囲気をより一層味わっていただきました。

音楽部5名の生徒によるクリスマスソングは手拍子を交えてみんなで歌い、盛り上がりました。